

平成29年度 全国中学校体育大会  
**第39回 全国中学校軟式野球大会**  
 「～感動！ 夢舞台！！ 絆をつなげ 九州の地で！」



【2回戦】白老町立白翔中学校(北海道：北海道) 対 みよし市立南中学校(東海：愛知県)

**白翔中、我慢の守りで投手戦を制す！！**  
 みよし南中、5回まで無安打で抑えるも、夢かなわず

【平成29年8月19日(土) 生目の杜運動公園アイビススタジアム 第1試合】

試合開始 9:56 試合終了 12:10 試合時間 2時間01分(中断13分) タイブレーク10回

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
みよし南 愛知県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(0)
白翔 北海道	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1×	1(0)

球審 [折田] 塁審(一) [伊堂寺] 塁審(二) [緒方] 塁審(三) [藤澤]  
 ◆バッテリー (南) 朝岡一山中 (白) 根本一鈴木 ◆二塁打 ◆三塁打 ◆本塁打

【試合経過】

みよし南中朝岡君、白翔中根本君の両好投手の息詰まる投手戦となった。みよし南中は1回表、四球で出塁した1番橋口君が、二塁まで進塁。その後二死となるが、4番朝岡君がボールに逆らわない見事な流し打ちで右前適時打を放ち1点を先制した。5回まで無安打に抑えられていた白翔中は6回裏、9番樋江井(啄)君が死球で出塁し、盗塁を決める。二死二塁から2番人見君の内野安打の間に、二塁走者が一気に本塁に帰り、同点に追いついた。その後も、両投手が好投を続け、両チーム得点を挙げられず延長戦へ突入した。延長戦も両投手の好投で決着がつかず、タイブレークに入った。タイブレーク1回表のみよし南中の攻撃は、白翔中の好守に阻まれ無得点。その裏、白翔中は、先頭打者の9番樋江井(啄)君が粘りをみせ、四球を選び試合終了となった。



〔投打に活躍した南中投手朝岡君〕



〔毎回奪三振で9回を投げ抜いた白翔中根本君〕

【監督談話】 みよし市立南中学校

下田 康平 監督

昨日の試合を完投した朝岡に試合を託した。幸先よく先制できたものの、左投手に苦手意識もあり、バッターボックスで工夫もさせたが、2回以降得点を重ねられなかった。随所で好捕もあり、守備陣はよく頑張ってくれた。「凡事徹底」をモットーに学校生活、部活動に取り組んだ結果が出せたと思う。

【監督談話】 白老町立白翔中学校

阿部 拓実 監督

タフなゲームだったが、選手が集中力を発揮し、粘り強く頑張ってくれた。序盤は、みよし南中のペースだったが、前回の全国大会の反省を生かして、試合に臨んだことが勝因だと思う。ピッチャーの根本には、「とにかくストライク先行で」と指示を出した。みよし南中は、元気が良く、バッテリーが素晴らしいチームだった。

みよし南	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
⑥ 橋口 泰斗	3	1	0	0	0	1	0	1
④ 杉本 樹紀	3	0	0	0	0	1	1	2
② 山中富士人	4	0	0	0	0	0	0	4
① 朝岡 慶	4	0	1	1	0	0	0	0
⑤ 木戸銀治朗	3	0	0	0	0	0	0	2
⑦ 若月 楽	3	0	0	0	0	0	0	3
③ 斉藤 寛太	3	0	0	0	0	0	0	2
⑧ 木戸 一貴	3	0	0	0	0	0	0	3
⑨ 岩崎 快成	3	0	0	0	0	0	0	0
計	29	1	1	1	0	2	1	17

白翔	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
④ 宮下 彪彦	4	0	0	0	0	0	0	3
⑥ 人見 純矢	4	0	2	1	0	0	2	1
① 根本 悠楓	3	0	0	0	0	1	0	2
③ 小西 徹	4	0	0	0	0	0	0	2
⑤ 宮田 瑠夏	2	0	0	0	0	2	1	1
② 鈴木 周羽	3	0	1	0	0	1	0	0
⑦ 波多 悠汰	4	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 村上駿太郎	1	0	0	0	0	0	0	1
H 小畑 前	1	0	0	0	0	0	0	1
8 野宮 太貴	1	0	0	0	0	0	0	1
H8 時田 流波	1	0	0	0	0	0	0	1
⑨ 樋江井啄真	2	1	0	0	0	1	1	1
計	30	1	3	1	0	5	4	14

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
朝岡 慶	9回	35	133	3	5	14	1

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
根本 悠楓	9回	31	138	1	2	17	1

